

浜松市のみちづくり計画(案) に対するご意見ありがとうございました

市民の皆さんからの提出意見と
その意見に対する市の考え方の公表



令和6年10月から11月にかけて実施しました浜松市のみちづくり計画(案)に対する意見募集(パブリック・コメントの実施)に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

意見募集を行った結果、市民等41人から71件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

また、お寄せいただきましたご意見を考慮して、「浜松市のみちづくり計画」を策定し、令和7年4月からの実施を予定しています。今後とも、浜松市のみちづくり計画に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この内容は、市ホームページ(<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>)にも掲載しております。

令和7年2月

浜松市土木部道路企画課

〒430-8652 浜松市中央区元城町103-2

TEL 053-457-2427

FAX 050-3737-0045

Eメールアドレス

dourokikaku1@city.hamamatsu.shizuoka.jp

募集結果

【実施時期】	令和6年10月25日から令和6年11月25日		
【意見提出者数】	41人		
【意見数内訳】	71件 (提案 7件、要望 38件、質問 26件)		
【提出方法】	持参(0) 郵便(2) 電子メール(21) FAX(1) 説明会等(47)		
【案に対する反映度】	案の修正	0件	今後の参考 8件
	盛り込み済	23件	その他 40件

目次

全体 (意見数5件)	・・・・・・・・P 2～P 3
1 計画の概要 (意見数4件)	・・・・・・・・P 4
2 現状と課題 (意見数6件)	・・・・・・・・P 5
3 浜松市の将来像・関連計画 (意見数0件)	
4 市民ニーズ (意見数1件)	・・・・・・・・P 6
5 みちづくりの方向性 (意見数38件)	
5-1 災害関連 (意見数4件)	・・・・・・・・P 7
5-2 ネットワーク (意見数8件)	・・・・・・・・P 8～P 9
5-3 交通安全 (意見数20件)	・・・・・・・・P10～P12
5-4 維持管理 (意見数1件)	・・・・・・・・P13
5-5 にぎわい (意見数5件)	・・・・・・・・P14～P15
6 みちづくりの基本方針 (意見数6件)	・・・・・・・・P16～P17
7 道路整備プログラム (意見数3件)	・・・・・・・・P18
その他 (意見数8件)	・・・・・・・・P19

全体（意見数 5件）

質問 1	平成29年の現行計画の総括はいつ行うのか。 現行計画の総括をして、次の計画を策定してほしい。
---------	---

【市の考え方】その他

現行計画の総括は、本計画（案）を検討する庁内検討会や学識経験者等で構成する有識者からご意見を伺っております。

現行計画は、5つの基本方針（拠点間を移動しやすいみちづくり、にぎわい・魅力を高めるみちづくり、安全・安心なみちづくり、災害に強いみちづくり、道路施設の適切な維持管理）に基づき道路事業を進めており、8年経過する令和6年度末時点における事業進捗率は約7割と順調に進捗していると考えています。

未完了の事業については、本計画（案）の基本方針に沿うものと考えており、引き続き完了に向けて取り組んでまいります。

質問 2	みちづくり計画等はいつ公表する予定なのか。
---------	-----------------------

【市の考え方】その他

パブリックコメントの意見等を踏まえて、本計画（案）を令和6年度内に策定し、基本方針をもとに選定した事業予定箇所等を示した道路整備プログラムと合わせて、令和7年4月に公表する予定です。

質問 3	みちづくり計画を策定するにあたり、参考としている他都市の計画はあるのか。また、これから参考にする都市を見つけたりしていくのか。
---------	---

【市の考え方】その他

本計画（案）を検討するうえで、静岡県「美しい"ふじのくに"のみちづくり」を参考としております。

また、本計画（案）の策定においては、学識経験者や国土交通省、静岡県、中日本高速道路株式会社等で構成する有識者にもご意見を伺っております。

要望 1	自動車目線の計画（案）になることは理解できるが、交通事故が多い ため、様々な立場の市民のことを考えている計画であることが分かる ように記載してもらいたい。
---------	---

【市の考え方】盛り込み済

本計画（案）では、歩行者や自転車の視点に立ち、基本方針3「すべての人にとって安全・安心なみちづくり」として、交通安全対策やユニバーサルデザイン化を推進するとともに、基本方針5「にぎわいを創出するみちづくり」として、歩行者・自転車利用者等、誰もが安全で快適に移動・回遊しやすいみちづくりの推進を位置付けております。

要望 2	「創造都市・浜松」にふさわしい文化的な風格を持った道路空間のため、中心市街地や特徴的な景観がある路線を中心に、街路樹やランドマークなどとの景観形成に配慮した道路整備が進むとよいと感じた。
-----------------	---

【市の考え方】盛り込み済

本計画（案）では、基本方針５「にぎわいを創出するみちづくり」として街路樹の適正な維持管理などによる道路環境や景観性の向上の推進を位置付けております。また、まちなかと観光地間などの回遊性の向上につながる自転車通行空間の整備等についても位置付けており、いずれも計画的に推進してまいります。

1 計画の概要（意見数 4件）

質問 4 ・ 5	2年前倒して策定することになった理由はなにか。 (外1件)
-------------------	----------------------------------

【市の考え方】その他

本計画（案）の計画期間を、令和7年度を始期とする浜松市総合計画次期基本計画と整合させるとともに、近年の自然災害の激甚化・頻発化などを踏まえ、道路を取り巻く環境の変化へ柔軟に対応するために、現行計画を2年前倒しております。

質問 6	現在実施中の西遠都市圏総合交通体系調査と本計画との関連性はどのように考えているのか。
---------	--

【市の考え方】その他

本計画（案）では、西遠都市圏総合交通体系交通調査に基づき策定される浜松市都市計画マスタープランや浜松市総合交通計画を関連計画としており、本計画（案）の「1. 計画と概要（みちづくり計画の位置付け）」や「3. 浜松市の将来像と関連計画」に記載しております。

本計画（案）は、これら浜松市都市計画マスタープランや浜松市総合交通計画によって位置付けられた道路ネットワークの中で、道路を新設する等の整備を実施していくための方針を示すものです。

このため、道路ネットワークが西遠都市圏総合交通体系交通調査の結果により変化する場合は、整備箇所も含めた見直しを行う考えです。

質問 7	みちづくり計画と道路整備プログラムは別物の計画のように見えるが、道路整備プログラムは別の計画として策定されるか。
---------	--

【市の考え方】その他

道路整備プログラムは、本計画（案）におけるみちづくりの基本方針に対応した実施候補（メニュー）に対し、この先10年で実施する箇所を選定したものであり、みちづくり計画とあわせて、令和7年4月に公表する予定です。

2 現状と課題（意見数 6件）

要望 3	自動車に依存しないみちづくり計画の策定に期待したい。
要望 4	自動車の分担率が72%と高いのは、公共交通機関が整備されていないためであり、特に高齢者は足が無いので、交通政策を一番に考えてほしい。
要望 5	市内交通渋滞によってバスにかなりの遅れが生じることで、公共交通の利便性が大きく低下していると感じるため、バス優先道路等のあり方や周辺道路の整備による一般車両の分散などを検討していただきたい。
質問 8	渋滞緩和によるバスの定時性確保と出ているが、バス路線の廃止等も今までにあったが、交通事業者との連携等については、どうなっているのか。

【市の考え方】その他

自動車への依存度の高さと交通渋滞の発生は関係性が深く、これらにより公共交通へ影響が生じている点を認識しております。

このため本計画（案）では、基本方針2「経済・産業に寄与するみちづくり」に基づき、特に市中心部（都市部）に顕著に見られる交通渋滞の緩和を目指した道路新設等の整備や交差点改良を推進するものとしており、バスの定時性確保など公共交通の利用促進に繋げてまいります。

要望 6	企業の工場等の進出に伴い交通に影響が出てからの対応ではなく、事前にどのような影響がでるか想定をしたうえで、みちづくり計画を策定してもらいたい。
---------	---

【市の考え方】今後の参考

事業所規模の大きい企業等が進出する際は、交通量の増加により周辺道路の混雑が予想されるため、事前に周辺への影響について庁内の関係部署と連携し、必要な道路新設等の整備を行っているところですが、全てに対応することは困難な状況もあります。

今後も関係部署等と情報共有や連携により、適切な対応に努めます。

いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

質問 9	交通事故が多くなっていると思うがその原因を伺いたい。
---------	----------------------------

【市の考え方】その他

本計画（案）の「2. 現状と課題（浜松市の交通事故の特性）」にありますように、人身交通事故の発生原因の多くは、不注意によるものと捉えております。

また、「追突事故」と「出会い頭の事故」の割合が多く、自動車交通量や渋滞、速度超過によるものが主な原因と考えられます。

4 市民ニーズ（意見数 1件）

質問 10	市民ニーズに自治会要望があるが、区協議会・地域分科会の意見や個人の意見は要望として取り扱われるのか。
----------	--

【市の考え方】 その他

自治会単位から要望をいただくことが主となっておりますが、地域分科会としてまとまったご意見等もご要望として受け付けることは可能です。

5-1 みちづくりの方向性（災害関連）（意見数 5件）

要望 7	馬込川や安間川に架かる狭小な橋は、南海トラフ地震発生時等に崩壊すると使用できないため、架け替えを進めるべきと考える。
---------	--

【市の考え方】その他

基本方針1「災害に強い道路ネットワーク機能の強化」のなかで、大規模災害時における物資輸送や支援活動を支える緊急輸送道路等や避難所までのルートに架かる橋の耐震化を優先的に進めております。

要望 8	普段交通量が少ない道路も有事においては迂回路となることを意識してほしい。
---------	--------------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

基本方針1「災害に強い道路ネットワーク機能の強化」では、大規模災害時における物資輸送や支援活動を支える緊急輸送道路等の整備と合わせ、リダンダンシー（ルートの多重化）の観点を踏まえ、迂回路となるような路線を整備・強化することで、災害に強い道路ネットワークの機能強化を行います。

質問 11	液状化の危険性について、災害時のみちづくりにおいてどのような想定をしているか。
----------	---

【市の考え方】その他

浜松市の平地部では液状化の可能性が高いことを認識しておりますが、広範囲が想定されるなど液状化対策の実施は非常に難しいと考えられます。

本計画（案）では、大規模地震発生時に緊急時の通行確保を最優先とすることが必要と考え、損傷した場合に復旧までに長期間を要する橋梁の耐震化を推進することとしております。

質問 12	まちなかの道路には、延焼遮断機能や防火帯としての防災機能もあるため、今後のまちなかにおける道路整備の方針やスケジュール感をどのように考えているか。
----------	---

【市の考え方】その他

市街地の道路整備は、主に都市計画道路の整備を推進しています。

都市計画道路は、緊急輸送道路や交通円滑化のほか、延焼遮断機能など多数の役割があることから、重要性を認識しております。

都市計画道路を含む市街地の道路整備方針は、基本方針2「経済・産業の発展に寄与するみちづくり」、基本方針5「にぎわいを創出するみちづくり」に基づくものとし、避難や延焼遮断機能の向上も合わせ持つことを踏まえ、路線の重要性や本計画期間内における道路事業全体の優先性を検討し、計画的に整備を推進してまいります。

5-2 みちづくりの方向性（ネットワーク）（意見数 8件）

要望 9	国道152号の天竜～水窪町間におけるカーブがきつい箇所のトンネル化をしていただきたい。
-----------------	---

【市の考え方】今後の参考

国道152号の天竜～水窪町間では、道路が狭い箇所やカーブが急な箇所において、局所的な拡幅や、待避所を設置するなどの対策を進めており、これまでに2箇所の局所改良を完了したところです。

引き続き、対策を推進してまいります。

いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

要望 10	新野球場建設に伴う道路整備がみちづくり計画（案）に盛り込まれていないように見受けられるが、計画に盛り込むように検討してほしい。
------------------	---

【市の考え方】その他

ご意見にある目的の道路整備としては、本計画（案）の基本方針2「経済・産業の発展に寄与するみちづくり」、基本方針5「にぎわいを創出するみちづくり」に該当するものとして捉えております。

新野球場への主なアクセスとしては、国道1号や市道上島柏原線が該当すると想定されるなか、どちらも整備済みであります。今後、新野球場の計画が進むなかで、関係機関と情報共有や連携を図ってまいります。

要望 11	大きな道路の整備だけでなく、地域の道路整備にも目を向けてほしい。
要望 12	支所などがある拠点間を結ぶという事は理解したが、拠点から少し離れたところに住んでいる人のことも配慮してほしい。

【市の考え方】盛り込み済

基本方針2「経済・産業の発展に寄与するみちづくり」において、生活機能等が集積された拠点間を繋ぐ道路ネットワークを形成する道路整備をみちづくりの方向性としていますが、拠点に繋がる生活道路の整備や維持管理も必要であると考えております。

提案 1	交通量の多い一車線道路の交差点に右折レーンを設置すれば、新しく道路をつくるよりも安く簡単に交通渋滞が解消するのではないかと思います。
-----------------	--

【市の考え方】盛り込み済

道路の新設や拡幅などの改良には、長期間を要することもあるため、早期に効果が期待できる対策として、交差点改良が有効と考えており、本計画（案）の基本方針2「経済・産業の発展に寄与するみちづくり」に基づき、交差点改良が必要な箇所の対策を進めてまいります。

要望 13	渋滞緩和において DX や新技術を積極的に活用していただきたい。
------------------	----------------------------------

【市の考え方】盛り込み済

渋滞対策では、具体的な整備検討の際に、走行速度や経路分析など、交通実態の把握にプローブデータ（自動車走行データ）を活用しており、今後もデジタルを積極的に活用してまいります。

質問 13	長年整備が行われていない都市計画道路の整備予定についての考え方を教えていただきたい。
質問 14	都市計画道路の見直しにおける廃止候補路線の今後の整備予定について教えていただきたい。

【市の考え方】その他

本計画（案）の計画期間である 10 年間に於いて基本方針 1「災害に強い道路ネットワーク機能の強化」と基本方針 2「経済・産業の発展に寄与するみちづくり」、基本方針 5「にぎわいを創出するみちづくり」に位置づけている路線の整備を優先して行うものであり、その他の路線については、今後の交通状況の変化等を踏まえ、整備について検討してまいります。

また、廃止候補路線のうち、都市計画の手続きを保留した路線は、現在実施中の西遠都市圏総合交通体系調査の将来分析等を踏まえ、改めて必要性を検討するとともに、存続する路線については、上段の考えと同様、整備について検討します。

5-3 みちづくりの方向性（交通安全）（意見数 20件）

要望 14	中央分離帯が途切れている箇所では右折しようとする車に追突し、事故が発生する恐れがある。
----------	---

【市の考え方】盛り込み済

中央分離帯の開口部における交通事故への懸念があることから、市内各所の中央分離帯の閉鎖を実施しており、引き続き対策を進めてまいります。

要望 15	浜松市民はせっかちな人が多いため、せっかちな性格にあわせた対策を検討していただきたい。
----------	---

【市の考え方】盛り込み済

本計画（案）の「2. 現状と課題（浜松市の交通事故の特性）」にありますように、人身交通事故の発生原因の多くは、不注意によるものと捉えております。

また、「追突事故」と「出会い頭の事故」の割合が多く、自動車交通量や渋滞、速度超過によるものが主な原因と考えられます。

これらの原因を基に対策を進めることにより、平成27年から令和5年までに約4割の人身交通事故を削減していることから、引き続き、ハード・ソフト両面での交通安全対策を推進してまいります。

要望 16	今後、電動キックボードも増えそうなので、より安全性の高い自転車通行空間の整備を目指していただきたい。
要望 17	最近は電動キックボードの普及も進んでいるので、そうした新しい交通手段にも対応できる自転車通行空間整備の計画になると良いと思った。

【市の考え方】今後の参考

今後のキックボードの利用者数の状況などを踏まえ、適切な道路環境整備に努めてまいります。

いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

要望 18	子供達が自転車を利用する際、どこを走れば良いのか分かるよう周知・対策をしてほしい。
要望 19	矢羽根型路面標示にて自転車通行場所を表示するにあたり、自動車の追い越しのことも考えてもらいたい。

【市の考え方】盛り込み済

自転車は車両であるため、車道の左寄りに矢羽根型路面表示を設置しております。

これは、自転車と自動車の双方に自転車の通行位置と方向を示すとともに、ドライバーへの注意喚起をすることを目的としております。

道路を快適に利用いただけるよう矢羽根型路面表示の意味や通行方法などの広報活動に努めてまいります。

要望 20	自転車通行空間の整備については、車道混在型（矢羽根）ではなく自転車専用通行帯の整備を目指していただきたい。
要望 21	自転車通行空間の整備も進めてほしい。
要望 22	安全な自転車道を整備していただきたい。

【市の考え方】盛り込み済

自転車通行空間の整備では、自転車専用道路の整備が望ましいと考えておりますが、現況道路区域内で自転車専用の通行空間が設置困難な場合は、用地取得が必要となるなど整備が極めて困難であるため、既存道路の中で実施可能な矢羽根型路面表示を設置するものとしております。

道路を快適に利用いただけるよう矢羽根型路面表示の意味や通行方法などの広報活動に努めてまいります。

要望 23	路面標示が薄れている箇所があるため、歩行者のために横断歩道を優先して塗りなおしをしてほしい。
要望 24	横断歩道の増設や線を引き直して分かりやすくしてほしい。
要望 25 ・ 26	横断歩道の設置などにはいろいろなルールがあると思うが、安全を優先して検討してほしい。（外1件）
要望 27 ・ 28 ・ 29	信号機や横断歩道の設置は警察の管轄であるため、市と警察でしっかりと連携をとり、柔軟な対応をお願いしたい。（外2件）
提案 2	車が優先になってしまうような変則交差点を歩車分離の交差点に変えるだけでも交通事故が減ると思う。

【市の考え方】その他

信号機や横断歩道、停止線など、交通規制に関わる施設の設置や更新等については、静岡県警が実施するものとなっているため、速やかに静岡県警に情報共有するとともに、交通事故のない社会を目指していくため、関係機関等と連携し、効果的な対策を検討・実施してまいります。

要望 30	道路のセンターラインをなくし狭めているが、制限速度が変わっていない道路があり歩行者にとって危険である。
------------------	---

【市の考え方】 その他

センターラインの削除は、走行速度を低下させる目的で実施しておりますが、規制標識等が変更されておらず、実態と合っていない箇所については、静岡県警に状況を伝えてまいります。

質問 15	人身事故件数ワースト1からの脱却の中で、「誰もが移動しやすいみちづくりのためユニバーサルデザイン化」とあるが、現行計画の基本方針2の「にぎわい・魅力を高めるみちづくり」のユニバーサルデザインの推進と何が違うのか。
------------------	--

【市の考え方】 その他

道路のユニバーサルデザイン化の推進は、「人優先」の考えのもと、交通安全思想の定着と交通環境の充実が図られ、交通事故のない社会を将来像に掲げた基本方針3「すべての人にとって安全・安心なみちづくり」に位置付けました。

要望 31	交通安全において、DXや新技術を積極的に活用していただきたい。
------------------	---------------------------------

【市の考え方】 盛り込み済

本計画（案）の「5. みちづくりの方向性（人身交通事故件数ワースト1からの脱却）」にあるように、AIを活用した交通安全対策の検討や、危険箇所を図化したマップの公開を行っており、今後もデジタルを積極的に活用してまいります。

5-4 みちづくりの方向性（維持管理）（意見数 1件）

要望 32	妊娠中の母親にとってガタガタした悪路はとても負担がかかる。住んでいるまちの道路が運転しにくいことが少子化につながることも考えられるため、整備を進めてもらいたい。
------------------	--

【市の考え方】その他

道路の舗装修繕については、5年に一度の定期点検や日常の道路パトロールにおいて損傷が著しい箇所を優先して進めていますが、お気づきの箇所がありましたら、本計画（案）の「5. みちづくり方向性（道路施設の維持管理）」に記載のある「いっちょお！」を活用していただくなど、ご連絡いただけると幸いです。

5-5 みちづくりの方向性（にぎわい）（意見数 5件）

要望 33	景観に配慮した街路樹ということで、街路樹を剪定するのは理解できるが、紅葉が見れないのは少し寂しい。
------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

主に市街地においては、繁茂する街路樹の剪定など、適切な管理により道路環境や景観性を向上するものとしており、可能な限り樹形を保持してまいります。

提案 3	景観に配慮した街路樹が掲載されているが、近年猛暑日が続いていることも踏まえ、写真の説明文（青字部分）を「景観にやさしく、ゆとりのある空間を創出」を「景観や緑陰に配慮した、歩きやすい空間を創出」に変更してはどうか。
-----------------	--

【市の考え方】盛り込み済

主に市街地においては、繁茂する街路樹の剪定など、適切な管理により道路環境や景観性を向上するものとしており、街路樹がもつ、やわらかな雰囲気や猛暑の時もゆっくりとゆとりを持って歩いていただけるよう「景観にやさしく、ゆとりのある空間を創出」としてまいります。

提案 4	浜松駅から放射線状に広がる、自転車や歩行者専用の通路ができればと思う。
-----------------	-------------------------------------

【市の考え方】今後の参考

自転車通行空間の整備では、自転車専用道路の整備が望ましいと考えておりますが、現況道路区域内で整備が不可能な場合は、必要な用地を買収することとなり長期間を要するため、既存道路の中で実施可能な即効性のある対策として、矢羽根型路面表示を設置するものとしてまいります。

歩道については、道路を新設・拡幅する際には、歩行者交通量等に応じた幅の歩道設置を行っているとともに、通学路整備要望等、地域からのご要望に対し実施可能な箇所については、引き続き、歩道設置を行ってまいります。

いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

要望 34	朝は歩道を走行する自転車も多く、交錯等危険を感じることも多いことから、ウォークアブルなまちなかを目指すうえで、こうした視点からも取り組む必要があると感じる。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

本計画（案）の基本方針5「にぎわいを創出するみちづくり」では、歩行者や自転車利用者等、誰もが安全で快適に移動・回遊しやすい「みちづくり」を推進してまいります。

提案 5	太平洋岸自転車道の整備として専用通行帯の整備イメージが掲載しているが、専用通行帯の写真を使用するなら、もう少し幅員の広い専用通行帯のイメージの方が良いと思う。
-----------------	---

【市の考え方】 その他

本計画（案）の「5. みちづくりの方向性（地域のにぎわい）」に掲載した太平洋岸自転車道の写真は、市内における実際の整備事例となります。

整備イメージとしては、実際の整備事例を掲載することが分かりやすいと考え、本計画（案）の写真としております。

6 みちづくりの基本方針（意見数 6件）

質問 16	計画（案）の基本方針が現行計画から少し変わっているが、計画（案）の基本方針に沿って現状に対する課題解決に取り組んでいく認識でよいのか。
----------	---

【市の考え方】その他

近年、自然災害が激甚化・頻発化していることや人身交通事故件数ワースト1からの脱却が急務であること、橋梁など膨大な道路施設の予防保全型維持管理への本格転換が必要であることなど、道路を取り巻く環境の変化へ柔軟に対応するために、本計画（案）の5つの基本方針に沿ったみちづくりを推進します。

質問 17	基本方針3にあるユニバーサルデザイン化の推進について、様々な立場の市民の意見を取り入れているのか。
----------	---

【市の考え方】その他

本計画（案）における道路施設のユニバーサルデザイン化は、昨年度末に改定した「浜松市道路施設ユニバーサルデザイン指針」に基づくものとなります。

なお、当該指針の改定においては、庁内会議にて、所管課であるUD・男女共同参画課に参画していただき、ユニバーサルデザインの視点を取り入れるとともに、視覚障がい者団体及び福祉団体にもご意見を伺っております。

要望 35	計画案のように「災害に強い道路ネットワーク」の強化がなされることを期待する。
----------	--

【市の考え方】その他

近年の自然災害の激甚化・頻発化の状況に対応するため、災害に強い道路ネットワーク機能の強化を行ってまいります。

要望 36	中山間地域における市道の管理については、地元自治会などのボランティア活動による清掃などによって維持されている現状があるが、高齢化や少子化で従来のような清掃活動が年々困難な状況になっているため、その解決方法の一つとして「道路・河川里親制度」の拡充・拡大を検討すべきではないか。
----------	---

【市の考え方】今後の参考

道路・河川里親制度においては、昨今の高齢化等により縮小傾向にある状況を確認しております。一方で、市民の皆様により活動等が道路等を維持管理する上で大変重要であり、道路・河川の里親制度を維持・強化していくために、庁内関係課と連携し方策を検討してまいります。

いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

要望 37	中山間地域をサイクリングする人口も急激に増えていることや、E-BIKEによるあらたな浜名湖～天竜区を巡るルートの整備も始まっており、中山間地域を巡るこれらのルート整備は、将来有望な観光資源の開発にもつながり、中山間地域の振興にも関わる重要なポイントとなる。 そのためこれらに関わるルート道路施設の整備は優先的に行う事で、サイクリストたちの安全を守る事にもつながるため、道路施設の維持管理を含め考慮する必要がある。
要望 38	北遠の春野町を起点にしたサイクルルートを整備できたらとても夢のあることだと思う。

【市の考え方】今後の参考

観光の視点を踏まえ、浜名湖周遊自転車等のルート上には矢羽根型路面表示を設置し整備を進めてまいりました。天竜区に至るルートについても、観光部局と情報共有を図りながら、整備の必要性がさらに高まっていくなかで、サイクリストの安全や快適性を確保するために、矢羽根型路面表示等の設置を行うとともに、そうした視点に立ち、可能な限り道路施設の維持管理を行ってまいります。

いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

7 道路整備プログラム（意見数 3件）

質問 18	基本方針に基づく、実施候補に対応する詳細な計画は市民に示されるか。
----------	-----------------------------------

【市の考え方】 その他

基本方針に基づき事業予定箇所等を示した道路整備プログラムを作成し、本計画と合わせて公表する予定です。

提案 6	自然環境・生態系や脱炭素に関する記載があった方がふさわしいと思うので基本方針や実施候補（メニュー）などに記載してはどうか。
---------	---

【市の考え方】 盛り込み済

基本方針2「経済・産業の発展に寄与するみちづくり」では、道路整備による走行性の向上や渋滞の緩和による排気ガスの抑制により CO2 排出量削減につなげ、カーボンニュートラルを推進するものとしております。

また、LEDの道路照明灯が省電力化に効果があるため、カーボンニュートラルに繋がるものと考えており、本計画（案）の基本方針3に基づく「7. 道路整備プログラム」の実施候補（メニュー）に 道路照明灯のLED化を記載しております。

提案 7	今後、街路樹等を新たに緑化していくというより、適正な維持管理の方が景観や交通安全上、課題であるため「道路緑化と適正な管理」としたらいかがか。
---------	--

【市の考え方】 盛り込み済

適切な維持管理を含め、「道路緑化」としております。

その他（意見数 8 件）

質問 19	何十年も整備が続いている道路があるがなぜ終わらないのか。
質問 20	現行計画の進捗状況はどうなっているのか。 遅れている事業は何が原因なのか。

【市の考え方】 その他

現行計画における事業の進捗状況は、8 年経過する令和 6 年度末時点において約 7 割と順調に進捗していると考えております。

しかしながら、道路の新設や拡幅などの改良事業では、必要な用地取得などに長期間を要することがあるため、整備延長が長い等、規模が大きくなるほど長期化する傾向にあります。

質問 21 ・ 22 ・ 23 ・ 24	現行計画において完了していない事業はどうなるのか。 (外 3 件)
---	--------------------------------------

【市の考え方】 その他

現行計画における事業の進捗状況は、8 年経過する令和 6 年度末時点において約 7 割と順調に進捗していると考えております。

未完了の事業については、本計画（案）の基本方針に沿うものと考えており、引き続き完了に向けて取り組んでまいります。

質問 25	計画（案）の策定にあたり、有識者からはどのような意見が出されたか。
----------	-----------------------------------

【市の考え方】 その他

有識者からは、交通渋滞が多いため円滑な移動の必要性を強調すべきという意見や、人身交通事故件数ワースト 1 であることから交通事故の状況を分かりやすくすべきという意見、能登半島での災害を踏まえた輸送手段を確保するための災害時の道路ネットワークの検討、計画的な道路の維持管理の推進が必要といったご意見をいただいております。

質問 26	浜松市のみちづくり計画（案）の庁内検討会の構成員、学識経験者、関係機関のメンバーの中に女性のメンバーは何名いるのか。
----------	--

【市の考え方】 その他

庁内検討会の構成員として 2 名、学識経験者として 1 名、計 3 名の女性が参画しております。